

令和6年度 京都市小中一貫学習支援プログラムの実施概要について

1 趣旨・目的等

- 京都市独自の教材開発、学習システムを構築し、小・中学校の連携を進める中で、継続して子どもたちの学習意欲を高め、義務教育一貫した学力の積み上げに取り組む。
- 児童生徒が自己の学習状況を定期的に確認することを通して、学習の改善及び一人一人の確かな学力の向上を図る。
- 個別・詳細な資料をもとに、授業改善・指導力向上を図る。
- 同趣旨のもとで、発達段階に応じた効果的な実施方法を検討する。

2 実施学年・教科

※実施時期及び実施回数については、一部変更の可能性がある。

(1) 「プレジョイントプログラム」(小学校4年生)

- 実施学年：小4(1月)
- 実施教科：国語、社会、算数、理科

(2) 「ジョイントプログラム」(小学校5・6年生及び中学校1年生)

- 実施学年：小5(8~9、1月)、小6(8~9、1月)、中1(4月)
- 実施教科：国語、社会(1月のみ)、算数、理科(1月のみ)

(3) 「学習確認プログラム」(中学校1~3年生)

- 実施学年：中1(10、1月)、中2(6~7、10、1月)、中3(5、10月)
- 実施教科：国語、社会、数学、理科、英語

3 実施方法

- 各校ほぼ同時期に実施する。
- 学習の定着状況の確認はテスト形式(1教科当たり中学校45分・小学校40分)で行う。
- 小学校4年生の児童には、出題計画表、学習確認問題、解答解説、学習状況資料(個人成績)などを配布する。
- 小学校5~6年生及び中学校1~3年生の児童生徒には、年間出題計画表、教科別年間出題計画、各回の出題範囲・予習教材、学習確認問題、解答解説・自己診断シート、学習状況資料(個人成績)、復習教材などを配布する。
- 学校用のデータ資料(アンケート結果含む)を作成する。
- 各種資料の内容・様式等は別途検討する。

4 作問方法

小・中学校教育研究会が委託機関との連携のもとで作成する。

5 データ処理

委託機関が採点、集計・分析を行い、採点結果と学習状況資料等を各学校に送付する。学習状況資料(個人成績)には、当該学年以前の確認テスト結果を反映させる。

6 実施児童生徒数（予定）

小学校・小中学校前期課程及び希望する総合支援学校の小学部：各学年約 9,600 人

中学校・小中学校後期課程及び希望する総合支援学校の中学部：各学年約 9,000 人

※実施児童生徒数については、実際の実施人数により増減します。

7 予定価格

総額を 166,451,400 円（消費税及び地方消費税相当額含む）とする。

ただし、各ステージとも 1 回あたりの単価を設定し、以下のとおり各回の単価×実施児童生徒数によって積算される経費及び（４）の経費の総額を予定価格とする（消費税及び地方消費税相当額含む）。

※令和 6 年度の事業方針により、予定価格及び実施回数が変更となる可能性があります。

（１）プレジョイントプログラム

ア 令和 6 年度 4 年生 1 人あたり 1,166 円（総額 10,960,400 円）

（２）ジョイントプログラム

ア 令和 5 年度 第 5 回 1 人あたり 475 円（総額 4,275,000 円）

イ 令和 6 年度 第 1 回 1 人あたり 965 円（総額 9,264,000 円）

ウ 令和 6 年度 第 2 回 1 人あたり 965 円（総額 9,264,000 円）

エ 令和 6 年度 第 3 回 1 人あたり 965 円（総額 9,264,000 円）

オ 令和 6 年度 第 4 回 1 人あたり 965 円（総額 9,264,000 円）

カ 令和 6 年度 第 5 回 1 人あたり 490 円（総額 4,410,000 円）

（３）学習確認プログラム

ア ベイシックステージ 1 1 人あたり 1,710 円（総額 15,390,000 円）

イ ベイシックステージ 2 1 人あたり 1,710 円（総額 15,390,000 円）

ウ プレスステージ 1 1 人あたり 1,710 円（総額 15,390,000 円）

エ プレスステージ 2 1 人あたり 1,710 円（総額 15,390,000 円）

オ プレスステージ 3 1 人あたり 1,710 円（総額 15,390,000 円）

カ 第 1 ステージ 1 人あたり 1,710 円（総額 15,390,000 円）

キ 第 2 ステージ 1 人あたり 1,710 円（総額 15,390,000 円）

（４）重要関連事項

全回の学力検査問題冊子の「ルビ振り版」提供等に係る経費 2,020,000 円